

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第133号 平成30年10月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 竹中 祐二 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス : <http://www.fuku-ot.org/>



特集：地域ケア会議を活用した課題解決について

(久留米市の取り組みを通して)

目次

巻 頭 言 第1回九州作業療法学会を北九州で開催します (公社)福岡県作業療法協会副代表理事 第1回九州作業療法学会学会長 医療福祉センター聖ヨゼフ園 濱本 孝弘	・・・1
会長行動	・・・2
特集：地域ケア会議を活用した課題解決について (久留米市の取り組みを通して) 特定非営利活動法人くるめ地域支援センター 長野 久雄	・・・4
各部・委員会からのお知らせ	・・・10
Occupation：体質改善アプローチについて 医療法人社団江頭会さくら病院 酒井 俊彦	・・・15
リレーエッセイ： 北九州市立医療センター 田中 真理子	・・・16



巻 頭 言 第1回九州作業療法学会を北九州で開催します

(公社) 福岡県作業療法協会代表理事 第1回九州作業療法学会学会長

医療福祉センター聖ヨゼフ園 濱本 孝弘

福岡県作業療法協会会員の皆さまへお知らせ致します。

2019年6月22・23日北九州国際会議場で、第1回九州作業療法学会を開催します。記念すべき第1回のテーマは「Stay Gold ～作業療法士が描く未来予想図for2025～」です。私たち作業療法士が支援する全ての人がその人生で輝き続けてほしいそういった願いを込めました。団塊の世代が後期高齢者となる2025年を前に、私たちが支援している方々が輝き続けるために、作業療法士はどのような未来予想図を描き、そして何を準備すべきなのか？そのヒントを掴める内容にしたいと考えています。

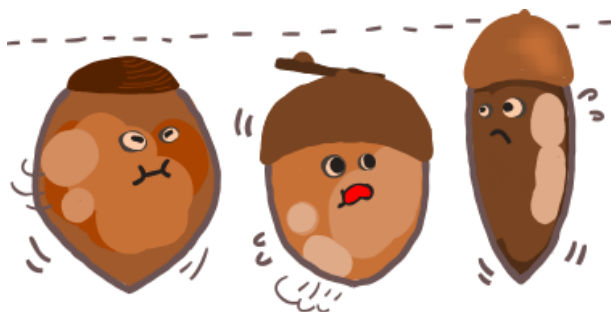
基調講演では、我が国の人口動態の抱える課題を改めてわかりやすく解説頂き、日本作業療法士協会会長に協会としての取り組みや作業療法士に対する期待を未来予想図として語っていただきます。

教育講演では、「女性OTが輝くために」「認知症の方の地域共生」「子どもが輝くために」の視点で、それぞれの分野で実践されてきた先駆けの作業療法士からその取り組みや大切にしてきたポイントをご教示いただきます。また、今回はモーニングセミナーで「脳卒中対象者に対する活動分析アプローチ」、北九州市議会議員として「作業療法士に期待すること」、およびランチョンセミナーとして「多様性のある地域社会と共生の原風景」「作業療法士のための研究」をお届けします。

そして、シンポジウムでは記念すべき第1回九州作業療法学会ということで、九州各県の会長にご登壇いただき「県士会長に聞きたい！作業療法士が輝くためのQ&A」として会員の質問に各会長に（なるべく本音で）ご回答いただきます。市民公開講座では、東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授をお迎え最近の「ユニークな子どもの力を伸ばす」取組についてわかりやすくご講演いただきます。

講演企画だけではなく、今回は学生の頃から学会に企画参加できるよう学生向け企画やイベント企画も進行中です。

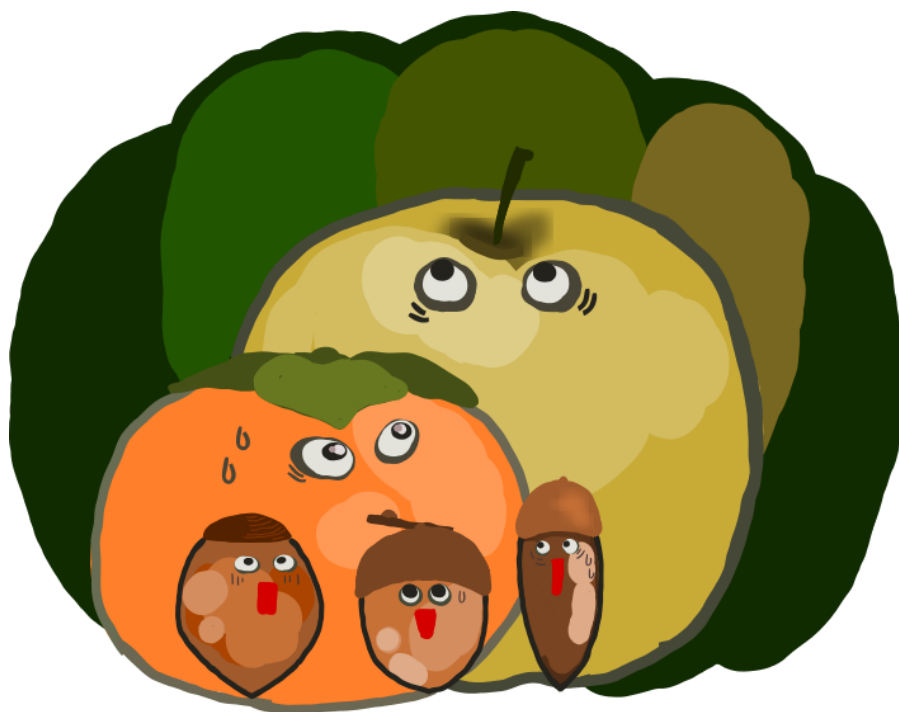
北九州市は、古くから日本の近代化をリードしてきた世界に誇る“ものづくりのまち”そしてその副産物としての公害を乗り越えた“環境のまち”として注目されています。最近では映画撮影も頻繁に行われていますし、ロボット産業も有名です。今年は、松本零士さんがデザインした9種のマンホールも話題になりました。進化し続ける街としていくつもの可能性を掘り起こす土壌を持つ北九州市は、“Stay Gold”にぴったりだと思っております。北九州市の歴史に触れ、人々の人情に触れつつ、“人が輝く”ということを考えてみませんか？障害をかかえながら輝くということ、こどもが輝くということ、年を重ねても輝けるということを考えてみませんか？みなさんの作業療法に輝く為の支援という引き出しが付加されるよう実行委員一丸となって取り組んでいます。みなさん是非、ご参加ください。



会長行動（平成30年6月～9月）

6. 17 平成 30 年度 介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会
全国設置キックオフ会議・第 1 回プロジェクトコーディネーター全体会議 出席
場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
6. 20 第8回九州作業療法学会準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
6. 28 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会ワーキング会議 出席
場所：福岡医健スポーツ専門学校
6. 30 Activity Assist Robotics 第 55 回日本リハビリテーション医学会 出席
場所：福岡国際会議場
7. 1 合同シンポジウム 大規模災害時のリハビリテーション医療の再生
第 55 回日本リハビリテーション医学会 出席
場所：福岡国際会議場
7. 6 県医療福祉介護部 挨拶
場所：福岡県庁医療福祉介護部高齢者地域包括ケア推進課
7. 6 テクノエイド協会公募説明会 出席
場所：エイムアテイン 博多駅東会議室
7. 10～8月末 福岡 JRAT：平成 30 年 7 月西日本豪雨災害への対応
場所：麻生リハビリテーション大学校，他
7. 12 県商工部 挨拶
場所：福岡県庁商工部新産業振興課
7. 12 福岡県病院協会リハビリテーション研修委員会 出席
場所：福岡県医師会館
7. 12 福岡 JRAT ミーティング 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
7. 14 県理事会歓送迎会 出席
場所：南国酒家
7. 18 第 9 回九州作業療法学会準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
7. 18 北九州ブロック広報誌原稿執筆
「教えて JRAT！」
7. 19 臨時理事会 出席
場所：らそうむ
7. 23 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
7. 24 北九州市指定管理者募集説明会 出席
場所：北九州市 総合保健 福祉センター3 階 ADL 室
7. 26 横倉先生日本医師会会長就任祝賀会 出席
場所：グランドハイアット福岡
8. 4 福岡県 PT・OT・ST 連絡協議会世話人会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
8. 6 第 3 回理事会 出席
場所：福岡医健スポーツ専門学校
8. 7 地域包括ケアシステム推進委員会 出席
場所：いきいき那珂デイサービスセンター
8. 8 太陽生命団体保険説明 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
8. 10 ふくおか健康づくり県民会議設立総会 出席
場所：福岡国際会議場

8. 20 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会事業説明 出席
場所：岡部病院
8. 27 三役会 出席
場所：県協会事務局
9. 5 第 9 回九州作業療法学会準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
9. 11 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 出席
場所：福岡医健・スポーツ専門学校
9. 18 吉田監事との学習会（指定管理事業） 出席
場所：吉田会計事務所
9. 20 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会GW 出席
場所：岡部病院
9. 27 北九州市指定管理事業ヒアリング 出席
場所：総合保健福祉センターアシスト 21



1. はじめに

平成30年度 日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会主催の「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」では、地域ケア会議における作業療法士の課題として、以下の6点が指摘された。

- 1) 地域ケア会議の目的の学習と理解が不十分
- 2) 助言の要点化が不十分
- 3) 帳票類の学習と理解が不十分
- 4) ケアマネジメントプロセスの学習と理解が不十分
- 5) 地域課題の理解が不十分
- 6) 全国的に「地域ケア会議や総合事業への作業療法士の参加が非常に芳しくない」という現状

平成28年度より介護予防普及展開事業が全国で始まり、福岡県でも平成29年度にモデル市町村が選定され、自立支援に資する地域ケア会議の開催が促進されている。また、介護保険における保険者機能の強化等においては、多職種と連携して地域ケア会議を開催することが求められており、自立支援・重度化防止に向けた取り組みを推進した市町村にインセンティブが付与されることとなった。対象者のニーズを把握したうえで、健康状態・生活機能・背景因子を幅広くアセスメントし、生活課題全般に対して、自立支援に資するアドバイスができる作業療法士への期待が高まっていることを肌で感じている。今後、さらに作業療法士が地域ケア会議に参加する機会が増えてくるだろうと思われる。そのような状況を踏まえると、特に、上記の6番目の課題については、優先的に解決すべき課題ではないかと考える。

福岡県作業療法協会の保健福祉部では、5地区のブロック理事や実務担当者などで、平成28年度より地域包括ケアシステム推進会議を定期的に開催し、県内の地域ケア会議における作業療法士の参加状況の把握や人材育成の研修などに取り組んでいる。平成30年4月時点で、福岡県作業療法協会が把握している県内の地域ケア会議の参加者は、97名であった。同時点での福岡県作業療法協会の会員数は、3,447人であるため、地域ケア会議における参加者の割合は、会員の約3%（2.8%）となる。この数字をどのように捉えるかは、判断が分かれるところではあるが、地域包括ケアシステム推進会議においても、地域ケア会議に参加できる作業療法士の人材育成は、優先事項の高い課題となっている。

私は、平成29年度より久留米市の地域包括支援センターに所属（久留米リハビリテーション病院より出向）しており、久留米市の自立支援地域ケア会議の立ち上げやアドバイザーとしての経験、運営側としての関わりを通じて感じたことを紹介する。

2. 久留米市の地域ケア会議について

1) 久留米市の概要

久留米市は、福岡県の南部と佐賀県の東部にまたがる筑紫平野に位置する自治体である。平成17年に4町を編入したことで人口が30万人を突破し、平成20年4月1日に中核市に移行した。平成30年4月1日現在で、人口は305,581人、高齢者数は80,445人で、高齢化率は26.3%である。介護保険料は、第6期の介護保険事業計画における年額の基準額で、67,812円（月額5,651円）である。久留米市は、高齢化率・介護保険料ともに、全国平均と大きな差はない状況である。久留米市の日常生活圏域は11圏域で、圏域ごとに11の地域包括支援センターが設置されている。地理的には東西に長く、中央圏域の高齢化率が低く、東西圏域の高齢化率が高いのが特徴である。

2) 地域ケア会議の位置づけ

久留米市では、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年に、高齢化率は約29%になることが予想されており、地域包括ケアシステムの構築に向けた政策が進められている。

図1は、久留米市版地域包括ケアシステムにおける各分野の取り組みを相関的に示している。久留米市でも、地域ケア会議を、地域包括ケアシステムを構築するための一つ的手段として位置付けている。

久留米市での地域ケア会議を体系的に整理すると、図2のようになる。地域ケア会議は、個別支援と地域で課題解決を図ろうとするものに大別される。いずれにしても、最終的な目的としては、高齢者が地域で尊厳あるその人らしい生活を継続していくことである。

地域ケア会議のアドバイザーは、参加する会議だけでなく、地域ケア会議の全体像を体系的に把握しておくことで、市町村や地域包括支援センターの職員と円滑にコミュニケーションを図ることができる。久留米市では、地域ケア会議を4つの形態に分類しており、以下の目的で開催している。（図3）

平成29年度における、久留米市での地域ケア会議の開催実績は、次の通りである。

- ・自立支援地域ケア会議：250事例
- ・個別支援地域ケア会議：50事例
- ・地域課題検討ケア会議：45回
- ・地域ケア会議専門部会：3回

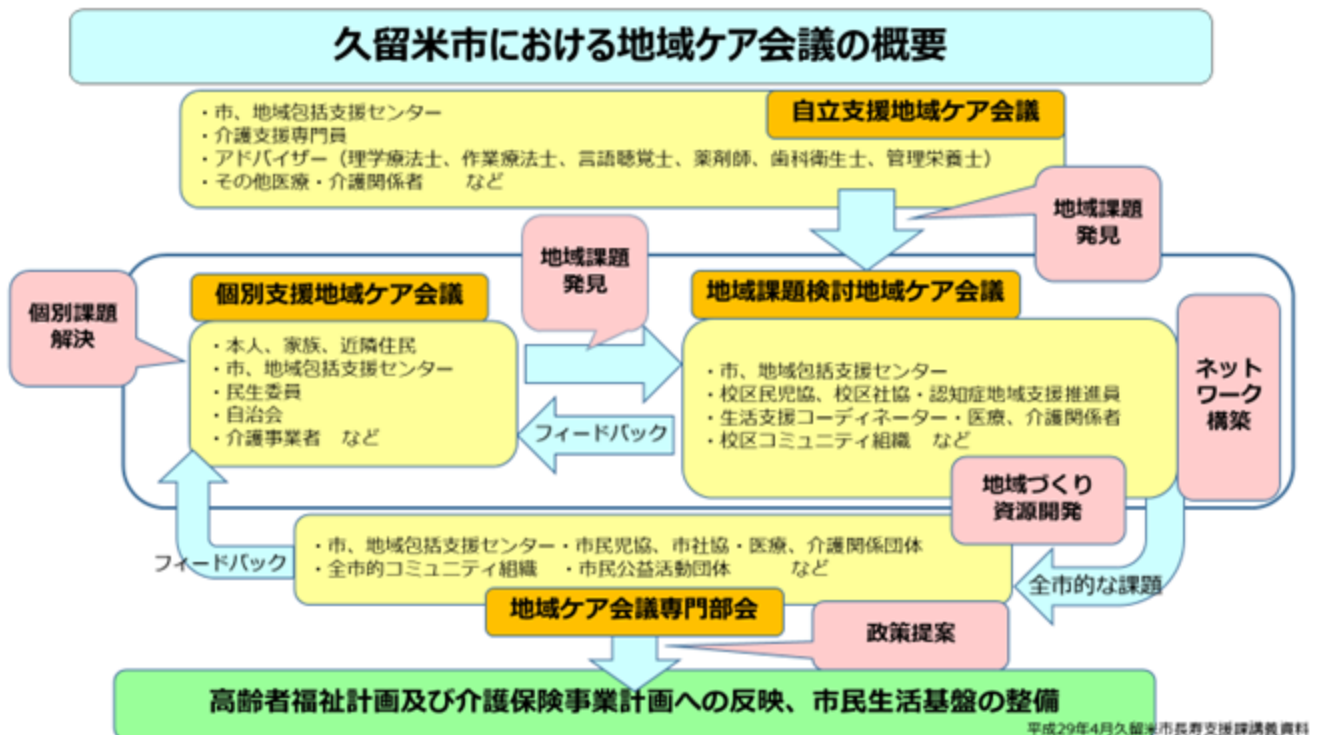
自立支援地域ケア会議における250事例の内訳としては、委託プランが169件、直プランが81件であった。認定別では、事業対象者が10件、要支援1が103件、要支援2が137件であった。また、年齢別では、前期高齢者が38件、後期高齢者が208件、2号被保険者が4件であった。

※久留米市版地域包括ケアシステム（図1）

『久留米市版地域包括ケアシステム』の構築に向けた各分野における取り組み



※久留米市における地域ケア会議の概要（図2）



※久留米市における地域ケア会議の分類（図3）

会議の名称	目的
自立支援地域ケア会議	専門多職種が連携し、介護支援専門員を支援することにより、高齢者の自立支援及び生活の質の向上を図る。
個別支援地域ケア会議	個別課題について、関係機関・団体等が検討を行うことにより、高齢者の課題解決を支援する。
地域課題検討ケア会議	個別の課題の検討を積み重ねることなどにより、地域課題について関係者で認識を共有し、解決策を検討する。
地域ケア会議専門部会	地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、介護保険事業計画への反映などの政策形成につなぐ。

久留米市における『地域ケア会議マニュアル』より

3) 自立支援地域ケア会議が始まるまで

久留米市では、平成27年10月より、自立支援地域ケア会議が開催された。自立支援地域ケア会議の開催にあたっては、平成27年4月から、地域ケア会議マニュアルの作成、アセスメントシートの作成、アドバイザー向け研修会の開催、模擬ケア会議の開催など、会議を運営する地域包括支援センターを中心に準備を行った。会議開催の準備では、作業療法士を含めた6職種のアドバイザーも資料の作成や模擬ケア会議の企画・運営に携わり、市役所や地域包括支援センターと専門職間のネットワークが形成されてきた時期でもある。

3. 自立支援地域ケア会議の実際

1) 自立支援地域ケア会議の概要

- ・いつ：月1回（年10回、9月と3月は開催なし）
- ・どこで：5圏域（市役所、総合支所など）で開催
- ・対象事例：要支援1・2の運動器疾患が中心
- ・どのように：1事例25分で5事例を実施（1圏域で1回5事例）

2) 自立支援地域ケア会議の参加者（図4）

- ・運営：地域包括支援センター職員（保健職、社会福祉士、主任介護支援専門員）、市役所職員（司会者は、地域包括支援センターの職員が担当）
- ・事例提供者：介護支援専門員、介護サービス事業者（通所・訪問型、福祉用具事業所など）
- ・アドバイザー：薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の6職種（歯科衛生士と言語聴覚士は、交代で参加）

作業療法士のアドバイザー数は、平成27年度の会議開催時は10名であったが、現在は16名（登録は19名）が会議に参加している。今後は、参加者数を増やしながら、スーパーバイズの仕組みの構築など、質を担保することが課題である。

3) 自立支援地域ケア会議に用いる帳票

- ・利用者基本情報：利用者の全体像を簡易に把握するための情報
- ・みつめてほシート：生活機能をアセスメントするための基本チェックリスト

※自立支援地域ケア会議の様子（図4）



- ・介護予防サービス・支援計画表：アセスメント領域ごとに課題を分析し、利用者および家族の意向を踏まえたうえで、具体的な目標設定と実現に向けた支援計画書
- ・課題整理総括表：自立した日常生活の阻害要因、課題改善の可能性、支援の見通しなど、総括して整理する表
- ・アセスメントシート：生活行為を詳細に分析するためのアセスメントシート（任意使用）

4) 自立支援地域ケア会議における進行の流れ（図5）

会議の当日は、45分程度で帳票を読み込み、会議が開催される。1事例あたりの読み込み時間は10分弱であるため、全ての帳票を熟読することは難しい。そのため、帳票のどの項目を押さえておくか、自分なりのポイントをもっておくといいのではないか。会議前には、会議の目的を参加者が再確認できるように、市役所職員が事例ごとに会議の目的を伝えている。

1事例あたりの検討時間は25分であるが、アドバイザーからの質問や助言の時間は15分程度であることから、短時間でわかりやすい助言をすることが求められる。アドバイザーを含め、一人の発言が長くなると、必要な意見交換の時間が短くなるため、会議の参加者が時間を意識して会議に臨むことが重要である。

※自立支援地域ケア会議のタイムスケジュール（図5）

時間	内容
13時00分～	書類の読み込み
13時45分～	注意事項・事例のポイントの説明
	①ケアプラン作成者より（5分）
14時00分～ （25分×5事例）	②アドバイザー等から質問・助言（15分）
	③まとめ（5分）
16時30分～	振り返り
17時00分	終了

平成27年9月『自立支援地域ケア会議』資料より一部抜粋

5) アドバイザーとの意見交換（図6）

久留米市健康福祉部長寿支援課の主催で、年に1～2回の頻度で市役所・地域包括支援センターの担当職員、自立支援地域ケア会議のアドバイザーとの意見交換会を開催している。内容としては、地域ケア会議の実績報告や課題の共有、意見交換や研修等となっている。

※アドバイザーとの意見交換会の様子（図6）



6) アドバイザー（リハビリ専門職）のフォローアップ体制

久留米市における地域包括ケアシステム構築ならびに運営に貢献することを目的に、平成27年6月にリハビリ専門職の有志で、久留米地区PTOTST連絡協議会を発足させ、定期的な会議を開催している。（図7）また、久留米市のアドバイザーとして参加している作業療法士の会議を月に1回開催している。（図8）地域ケア会議に参加しているアドバイザーは、「自分のアドバイスはこれでよかったのか」、「もっとよいアドバイスはなかったのか」という不安や悩みをもっていることが多い。そのような想いを共有したり、課題を解決したりするためには、アドバイザー同士の意見交換は重要であると考える。

リハビリ専門職だけでは解決できない課題や問題提起がある場合は、必要に応じて市役所や地域包括支援センターの担当職員がPTOTST連絡協議会に参加することもあり、会議の場で意見交換をすることができる。

（1）久留米地区PTOTST連絡協議会

- ・いつ：隔月1回（奇数月の第2水曜日の19時～）
- ・どこで：久留米市役所
- ・誰が：久留米地区のリハビリ専門職（平均30名程度の参加）
- ・どのように：①自立支援地域ケア会議の振り返り、アドバイス方法などの検討、②久留米市の介護予防事業についての情報提供や意見交換、③研修会や勉強会の開催など

※久留米地区PTOTST連絡協議会の様子（図7）



（2）OT会議（高齢者支援ブロック筑後地区）

- ・いつ：月1回（第1水曜日の19時～）
- ・どこで：参加者の所属施設
- ・誰が：自立支援地域ケア会議に参加している作業療法士（平均12名程度の参加）
- ・どのように：①自立支援地域ケア会議の振り返り、アドバイス方法などの検討、②久留米市の介護予防事業についての情報提供や意見交換、③地域包括支援センターとの連携状況の報告、④研修会の報告など

※OT会議の様子（図8）



4. 作業療法士に求められる役割

1) 介護支援専門員の特徴

介護支援専門員の保有資格について、平成15年と平成27年を比較すると、医療系の職種が減って、福祉系の職種の割合が増えている。（図9）介護福祉士が全体の約6割を占めているため、疾患に対する理解や予後予測、ICFや工程分解の考え方を学ぶ機会は少ないことが想像される。アドバイザーの助言が介護支援専門員に伝わるためには、学習機会の少ない点を補足するような助言が効果的ではないだろうか。

※介護支援専門員の保有資格（図9）

介護支援専門員の保有資格（事業所票）（複数回答）



2) 介護支援専門員の声

久留米市地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員を中心に介護支援専門員との意見交換の場をもっている。介護支援専門員に対して、自立支援地域ケア会議について聞き取りした内容を一部抜粋する。

- ・専門用語を控えて欲しい。
- ・本当に聞きたいことに重点を置いたアドバイスが欲しい。
- ・利用者に伝えるときに、わかりやすく説明することができた。
- ・成功体験を伝えてもらえると本人が想像しやすく、意欲につなげやすい。
- ・自分だけのアセスメントでは気づいていない視点でアドバイスをしてもらった。
- ・専門職から「良く頑張っています」との言葉で、本人・ケアマネ共に自信が得られた。

3) アドバイザーに必要な心構えと技術

前述した介護支援専門員の特徴や意見を踏まえ、作業療法士は、どのような心構えで地域ケア会議に臨んだらよいだろうか。久留米市の地域ケア会議マニュアルでは、アドバイザーの心構えや助言のポイントについて明記されている。（図10）介護支援専門員が、事例提供して良かったと思えるような地域ケア会議にするためには、雰囲気づくりやアドバイスの内容が重要である。

（1）雰囲気づくり

学生時代に、実習で先輩の作業療法士を前に症例発表をした時、どのような気持ちだっただろうか。きっと、事例提供者である介護支援専門員も同じような心境ではないだろうか。作業療法士のアドバイザーは、「眉間にシワではなく、目尻にシワを」よせて、「指摘ではなく、助言を」したいものである。

※アドバイザーの心構え（図10）

アドバイザーの心構え

- 自らの専門分野を中心に内容確認を行い、利用者の生活に見合う自立支援に向けた現実可能な具体的なアドバイスを行う。
- ケアマネジメントが望ましい着眼点の時は、積極的に肯定する。
- ケアプラン作成者がプランを見直す際に役立つ考え方や視点をわかりやすく示す。

平成27年9月『自立支援模範地域ケア会議』資料より一部抜粋

（2）アドバイスの内容

介護支援専門員が、助言してもらった内容を利用者にわかりやすく説明するためには、アドバイザーが、介護支援専門員にわかりやすく伝えることが重要である。わかりやすく伝えるために、日頃からプレゼンテーションの訓練を積み重ねていきたい。また、作業療法士は、対象者の「強み」と「弱み」をアセスメントすることが得意であるため、介護支援専門員のよい点をみつけて、それを伝えることも作業療法士の得意な技術ではないだろうか。

アドバイザーからのひとことが、介護支援専門員を助け、利用者の生活の質を高める、ということ意識して地域ケア会議に臨みたい。

5. 地域ケア会議と課題解決

地域ケア会議の開催形態は、市町村によってさまざまである。そのため、会議を運営する市町村や地域包括支援センターが、参加する作業療法士に何を求めているかを理解しておくことが重要である。地域ケア会議に参加する場合は、各市町村や地域包括支援センターが作成したマニュアルを参考にし、課題解決のために何を求められているかなど、運営側の要望を理解した上で地域ケア会議に関わることが求められる。

地域ケア会議は、個別ケースの積み重ねから地域課題を抽出し、地域づくり・社会資源の開発や施策等を充実することによって、高齢者の社会基盤整備が図られていく。久留米市では、介護予防における地域課題を解決するため、平成29年度より、地域介護予防活動支援事業（介護予防サポーター養成講座）や地域リハビリテーション活動支援事業（リハビリ専門職による住民主体の通いの場の支援、通称：元気リハ）が開始され、多くのリハビリ専門職が一般介護予防事業に携わっている。地域ケア会議という介護予防の出発点を、地域包括ケアシステムの構築につなげていくことが重要である。

地域ケア会議を自分（アドバイザー自身）が主体として考えると、アドバイザーとしての自分自身の課題は何か（例：伝え方やケアマネジメントの理解など）、会議を通じてみえてきた所属施設

での課題（例：対象者に対して自立支援に資する支援ができていないか、退院支援における介護保険の理解など）、さらに、福岡県作業療法協会の課題（例：アドバイザーの資質向上、総合事業への理解など）へとつなげることができる。

地域ケア会議は、単に会議を開催することが目的ではなく、個別課題や地域課題を解決するための手法として有効な手段である。また、アドバイザー自身のスキルアップや所属施設の資質向上につながる教育的な機能も持ち合わせていると考える。

6. おわりに

公益社団法人福岡県作業療法協会は、福岡県の作業療法士の作業療法に関する学術技能の研鑽及び人としての資質の向上に努め、作業療法の普及発展を図り、もって県民の健康増進・生活機能の向上に寄与することを目的としている。

私たち会員は、協会の目的を果たすために、どのような取り組みができるのでしょうか。それぞれの立場により、関わり方やできることは違うと思います。しかし、県民の健康増進・生活機能の向上のため、何かできることがあるのではないかと思います。

地域ケア会議は、介護支援専門員への支援、利用者の生活の質の向上に関わることができます。時には、上手くいかずに落ち込むこともあります。が、作業療法士としての能力を高めることもできる修行の場です。私は、地域ケア会議を通じて、多くの気づきと学びを与えてもらいました。これからも、県民の健康増進・生活の質の向上のため、些細なことでも、自分にできることを目指していきたいと思います。

みなさんも、地域ケア会議に参加する一歩を踏み出してみませんか。

【参考文献】

- 1) 厚生労働省：介護予防普及展開事業
- 2) 厚生労働省：地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について
- 3) 久留米市：久留米市第7期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画
- 4) 久留米市：久留米市における「地域ケア会議マニュアル」
- 5) 介護給付費分科会：居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業
- 6) 社会保障審議会 介護保険部会：ケアマネジメントのあり方
- 7) 一般社団法人日本作業療法士協会：総合事業実践 事例集
- 8) 一般社団法人日本作業療法士協会：日本作業療法士協会誌 平成28年10月15日発行 第55号

各部・委員会からのお知らせ

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 30年度第2回地域包括ケアシステム 推進会議

- ①日 時：平成30年8月7日(火)
- ②場 所：いきいき那珂デイサービス
センター
- ③出席者：竹中祐二，志井田太一，
平岡敏幸，田中聡，黒田隆之，
佐野功一，長野久雄，榑井剛士，
黒木勝仁，玉野和男，轟木健市，
深井伸吾
- ④内 容：自立支援ケア会議の活動報告，
活動予定について

(2) 30年度第2回特別支援教育対策企画会議

- ①日 時：平成30年7月10日(火)
- ②場 所：麻生リハビリテーション大学校
- ③出席者：曾根川達司，渡邊直美，
藤川貴子，鬼塚みゆき，
武藤美智恵，長野清一郎
- ④内 容：30年度活動計画，研修企画検討

(3) 30年度第3回特別支援教育対策企画会議

- ①日 時：平成30年8月24日(金)
- ②場 所：麻生リハビリテーション大学校
- ③出席者：曾根川達司，渡邊直美，
藤川貴子，鬼塚みゆき，
武藤美智恵，長野清一郎
- ④内 容：30年度活動計画，研修企画検討

(4) 30年度 第1回 特別支援教育対策研修会

- ①日 時：平成30年9月9日(金)
- ②場 所：なみきスクエア
- ③内 容：特別支援教育に携わる作業療法士
スキルアップ 福岡県の特別支援
教育の現状と課題
- ④参加者：24名

(5) 30年度第1回認知症アップデート研修会

- ①日 時：平成30年6月24日(日)
- ②場 所：イイヅカコミュニティセンター
- ③内 容：認知症アップデート研修
- ④参加者：85名

(6) 30年度 第2回 認知症作業療法推進会議

- ①日 時：平成30年9月6日(木)
- ②場 所：いきいき那珂デイサービス
センター
- ③出席者：都甲幹太，平岡敏幸，島本和孝，
深井伸吾
- ④内 容：認知症アップデート研修企画に
ついて

(7) 30年度地域ケア会議および介護予防・日常 生活支援総合事業に関する人材育成研修会

- ①日 時：平成30年7月21日(土)，22日(日)
- ②場 所：TKP秋葉原カンファレンスセンター
- ③内 容：地域ケア会議および総合事業に
関する人材育成研修会
- ④参加者：長野久雄，深井伸吾 (福岡県)

【教育部】

1. 電子会員証および研修受講カードの取り扱いに ついて

今年度から導入された電子会員証および日本
作業療法士協会 会員ポータルサイトの周知が
不十分なこと，バーコードシステムとその周辺
機器の未整備なため，電子会員証の手続きが混
乱することが必至だと推察されるため，県協会
として以下の通り対応を統一した。

今年度に限り，日本作業療法士協会会員であ
ることが参加要件の研修会等の際に，電子会員
証が提示できない会員の方は，研修受講カード
の提示でも受け付けることとした。

2. 主催研修会報告

1) 老年期分野研修(現職者選択研修)

- 日 時：平成30年8月26日(日)
- 場 所：レインボープラザ(北九州市)
- 参加人数：58名

2) MTDLP基礎研修(現職者選択研修：必須)

- 筑豊ブロック：平成30年7月22日
(飯塚記念病院)
- 参 加 人 数：48名 講師：都甲幹太
- 福岡東ブロック：平成30年8月19日
(アザレアホール)
- 参加人数：31名 講師：都甲幹太
- 筑後ブロック：平成30年9月24日
(筑後商工会議所)
- 参加人数：73名(予定) 講師：長谷 麻由

3) MTDLP書き方研修会

- 北九州ブロック：平成30年9月2日
(九州医療スポーツ専門学校)
- 参加人数：12名

3. 平成30年度 主催研修会予定(詳細は県協会 ホームページをご参照ください)

1) 精神分野研修

- 日 時：30年10月27日(土)
- 場 所：A.R.Kビル貸会議室 大ホール2階
- テーマ：「作業療法における対象者の理解と
治療関係について」
- 講 師：中山広宣
(九州保健福祉大学特任教授)

2) 身体分野研修

- 日 時：30年11月4日(日)
- 場 所：聖マリア学院大学
- テーマ：FIMについて

講師：飯田真也(産業医科大学病院)
中津留正剛(産業医科大学病院)

3) 地域分野研修

日時：平成30年11月11日(日)
場所：リファレンス大博多会議室
テーマ：「地域コミュニティ創生・再生のための、リハビリテーション専門職に求められている視点・役割」

講師：安本勝博(津山市こども保健部健康増進課主幹)
三村和礼(アクティブ・ライフ・サポート 代表取締役)

4) MTDLP関連研修

(1) MTDLP基礎研修(現職者選択研修：必須)

北九州ブロック：平成30年10月14日
(小倉リハビリテーション学院)

※会員の受講推進のため、平成30年度から5年間に限り、受講料を2,000円の設定で開催する。

(2) MTDLP事例検討会

福岡ブロック：平成30年10月21日
(リファレンス駅東ビル)

筑豊ブロック：平成30年11月18日
(飯塚記念病院)

福岡東ブロック：平成30年12月16日
(検討中)

筑後ブロック：平成31年1月20日
(筑後商工会議所)

北九州ブロック：平成31年2月17日
(レインボープラザ)

(4) 福岡県作業療法協会 MTDLP取得状況

MTDLP基礎研修修了者：1,403名
(H30年9月現在)

MTDLP研修修了者：83名【7.0%】
(4339名【19.8%】)(H30年2月現在)

※%表示＝MTDLP研修修了者/基礎研修修了者
MTDLP指導者：6名(130名)(H30年2月現在)

【倫理委員会】

1. 事業企画会議

1) 第1回倫理委員会企画会議

日程：平成30年7月24日(火) 19:00～
場所：福岡和白リハビリテーション学院
出席：4名
内容：福岡県作業療法協会倫理規定
・綱領について

【渉外部】

1. 福岡県介護実習・普及センター福祉用具専門部会並びに研修専門部会委員の任期満了に伴う委員推薦について

運営委員会：麻生リハビリテーション大学校
竹中祐二

専門部会：

1) 研修専門委員会：

医療福祉センター聖ヨゼフ園 濱本孝弘(継続)

2) 福祉用具専門部会：

福岡医健・スポーツ専門学校 河口青児(継続)

2. 平成30年度介護講座講師派遣(福岡県社会福祉協議会)

福祉用具・住宅改修講座：

福祉用具で安心安全な生活を
平成30年7月13日(金)

福岡医療・スポーツ専門学校 河口青児
平成31年1月12日(土)

福岡医療・スポーツ専門学校 河口青児
福祉用具・住宅改修講座：

暮らしやすい住宅改修と福祉用具
平成30年7月27日(金)

福岡医療・スポーツ専門学校 河口青児
平成31年2月7日(木)

福岡医療・スポーツ専門学校 河口青児
福祉用具・住宅改修研修：

身体状況に応じた福祉用具活用
平成30年9月27日(木)

良創夢リハビリテーションセンター宮本香織

【企画委員会】

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 啓発用具等作成企画会議

①日時：平成30年6月25日(月)

②場所：作業療法協会事務局

③出席者：田中聡、佐藤稔、立野美奈、
高崎弘嗣、御木大地、千々和萌

④内容：平成30年度西日本国際福祉機器展
遠賀町健康福祉祭りでの啓発
用具企画

(2) 事業企画会議

①日時：平成30年7月26日(月)

②場所：株式会社シダー本社

③出席者：田中聡、佐藤稔、立野美奈、
峯浩一、高崎弘嗣、御木大地、
千々和萌、手嶋正弘

④内容：平成30年度西日本国際福祉機器展
健康福祉祭り準備進行状況確認
OT協会ホームページ知恵袋検討

(3) 西日本国際福祉機器展準備会議

①日時：平成30年8月20日(月)

②場所：作業療法協会事務局

③出席者：田中聡、佐藤稔、立野美奈、
峯浩一、中村しおり、御木大地、
千々和萌、手嶋正弘

④内容：平成30年度西日本国際福祉機器展
健康福祉祭り準備進行状況確認
OT協会ホームページ知恵袋検討

- (4) 福祉用具プラザ指定管理に向けた会議
 ①臨時理事会 (H30. 7. 19)
 ②指定管理募集説明会 (H30. 7. 24)
 ③臨時理事会 (H30. 8. 27)
 ④指定管理申請 (H30. 9. 10) (H30. 9. 14)

【福岡東ブロック】

【事業区分 公1】

事業企画会議開催(現在6回開催)

会 場：福岡青洲会病院

宗像水光会総合病院

第1回 福岡東ブロック全体事業企画会議

日 程：平成30年4月17日(火)

場 所：福岡青洲会病院

出 席：14名

第2回 福岡東ブロック全体事業企画会議

日 程：平成30年5月28日(月)

場 所：宗像水光会総合病院

出 席：14名

第1回 宗像地区事業企画会議

日 程：平成30年6月12日(火)

場 所：あおぞらの里

出 席：6名

第1回 糟屋地区事業企画会議

日 程：平成30年6月19日(火)

場 所：福岡青洲会病院

出 席：8名

第1回 理事・地区リーダー・財務会議

平成30年7月10日(火)

場 所：宗像水光会総合病院

出 席：4名

第1回 福岡東ブロックMTDLP推進委員会

事業企画会議

平成30年7月24日(火)

場 所：ニューライフ須恵

出 席：4名

第2回 宗像地区事業企画会議

日 程：平成30年8月9日(木)

場 所：宗像水光会総合病院

出 席：8名

第3回 福岡東ブロック全体事業企画会議

日 程：平成30年8月16日(木)

場 所：福岡青洲会病院

出 席：16名

第3回 福岡東ブロック懇親会

(作業療法フェスタ)

日 程：平成30年8月23日(木)

場 所：ぶどうの樹 福津海岸通り

出 席：46名(非会員10名)

福岡東ブロック研修会開催

(ブロック主催6回開催)

第1回(福岡・福岡東ブロック合同研修会)

期 日：平成30年5月17日(木)

19:00～21:00

テーマ：「診療報酬改定」

講 師：福田 裕樹氏

(新やなぎ健診クリニック)

伊賀 信也氏

(柳川リハビリテーション学院)

会 場：水光会総合リハ・フィットネス
センター

参加者：30名(管理栄養士1名)

第2回

期 日：平成30年6月5日(火)

19:00～21:00

テーマ：「リハビリと栄養」～他職種連携
を図る上で必要な知識と視点～

講 師：管理栄養士 田中 壮昇氏

(宗像水光会総合病院)

会 場：水光会総合リハ・フィットネス
センター

参加者：47名

第3回

期 日：平成30年7月14日(土)

19:00～21:00

テーマ：「橈骨遠位端骨折を中心とした
解剖から評価・治療について」

講 師：片山智裕氏

(溝口外科整形外科病院)

会 場：福岡青洲会病院

参加者：27名

第4回

期 日：平成30年8月19日(日)

9:00～17:00

テーマ：生活行為向上マネジメント研修会

講 師：都甲幹太氏

(介護老人保健施設あやめの里)

会 場：アザレアホール須恵

参加者：31名

第5回

期 日：平成26年9月6日(土)

19:00～21:00

テーマ：高齢者の社会参加を創る～
Rorenという活動を通じて～

講 師：香月 真 氏

(シティケア長住作業療法士)

会 場：水光会総合リハ・フィットネス
センター

参加者：43名

第6回

期 日：平成26年10月18日(木)

19:00～21:00

テーマ：作業療法の実施について必要なこ
と ～症例を通して考える～

講 師：飯塚 恵津子氏

(医療法人飯盛会倉光病院)

会 場：水光会総合リハ・フィットネス
センター

【事業区分 公2】

1. Facebook 「公益社団法人福岡県作業療法協会
福岡東ブロック」
研修会情報等随時更新
2. LINE@「公益社団法人福岡県作業療法協会
福岡東ブロック」
研修会情報等随時更新 会員連絡方法使用.

【事業区分 公3】

1. 各市町村への介護認定審査会委員，障害程度
区分認定審査員の派遣
2. バリアフリーアドバイザー派遣
(水光会大田)
3. 宇美町病診連携

【筑豊ブロック】

<公1>

I. 事業企画会議

第1回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年4月17日火曜日

会 場：飯塚記念病院

参加者：20名

第2回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年6月19日火曜日

会 場：飯塚記念病院

参加者：18名

第3回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年8月20日火曜日

会 場：飯塚記念病院

参加者：20名

II. 研修会報告

第1回 筑豊ブロック研修会

日 時：平成30年6月9日土曜日

会 場：飯塚記念病院

テーマ：カナダ作業遂行測定(COPM)について

トピック：海外精神保健視察報告

講 師：古賀昭彦氏(帝京大学)

参加者：30名

現職者選択研修 生活行為向上マネジメント 基礎研修(筑豊ブロック)

日 時：平成30年7月22日(日)9:00～17:00

会 場：飯塚記念病院 6階グランドホール

講 師：都甲 幹太氏(あやめの里)

参加者：49名

<公2>

- I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第24件号 平成30年
4月15日発行

- II. 広報誌 筑豊OT TIMES 第25件号 平成30年
7月15日発行

【今後の予定】

<公1>

第4回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年10月9日火曜日

会 場：飯塚記念病院

<公2>

- I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第26件号 平成30年
10月15日発行 予定

【北九州ブロック】

<北九州ブロック>

ブロック企画会議開催

平成30年7月9日(月) 19:00～

北九州市認知症支援・介護予防センター

平成30年9月3日(月) 19:00～

(公社)福岡県作業療法協会事務所

地域ケア会議に関する研修

日 時：平成30年9月2日(日) 10:30～16:30

会 場：北九州市認知症支援・介護予防

センター 研修室

講 師：田中聡氏(リハデイ吉木)

講 師：高内志保氏

(北九州リハビリテーション学院)

岡村総一郎氏

(リハビリデイサービスりふるゆくはし)

都甲幹太氏(あやめの里)

参加者：14名

<小倉北・門司エリア>

エリア事業企画会議開催

平成30年7月12日(火) 19:00～

新小文字病院すみれ寮

<小倉南・京築エリア>

エリア事業企画会議開催

平成30年8月2日(火) 19:00～

小波瀬コミュニティーセンター

<八幡西・遠賀・中間エリア>

エリア事業企画会議開催

平成30年7月25日(水) 19:00～ 小嶺江藤病院

平成30年8月3日(水) 19:00～ ごえん

平成30年8月23日(木) 19:00～ 小嶺江藤病院

平成30年9月19日(水) 19:00～ 東筑病院

<八幡東・戸畑・若松エリア>

第2回北九州ブロック研修会

日 時：平成30年7月20日(金) 19:00～21:00

会 場：八幡西生涯学習センター 大会議室

テーマ：失行(肢節運動失行・観念運動失行・
観念失行)の評価と治療介入

講 師：原麻理子氏(国際医療福祉大学)

参加者：92名

<広報部>

広報誌「北九OTネットvol.28」発行

【福岡ブロック】

事業企画会議

日 時：平成30年8月9日(木) 19:00～20:30

場 所：都久志会館501会議室

(福岡市中央区)

参加者：15名

2. 平成30年度福岡ブロック

城南早良・西部エリア合同研修会

日 時：平成30年7月18日(水) 19:00～20:30

場 所：福岡市西市民センター視聴覚室
(福岡市西区)

内 容：「作業療法に焦点をあてた事例検討の
書き方・報告について」

講師名：鎌田 陽之 先生

(ケアセンターひまわり苑作業療法士)

参加者：8名(作業療法士)

3. 平成30年度第1回福岡ブロック事例検討会

日 時：平成30年9月5日(水) 19:00～20:30

場 所：九州大学病院 リハビリテーション部
研修室

参加者：発表者3名

聴講者：17名(作業療法士)

4. 平成30年度第2回福岡ブロック研修会

日 時：平成30年8月30日(木) 19:00～20:30

場 所：ふくふくプラザ視聴覚室
(福岡市中央区)

内 容：リハビリテーションと栄養について

講師名：斎藤ミキ先生

(福岡リハビリテーション病院管理栄養士)

参加者：57名(作業療法士)

【筑後ブロック】

【活動報告】

〈公1〉

1. 事業企画会議

1) 第3回筑後ブロック事業企画会議

日 時：平成30年8月27日

場 所：筑後商工会議所

2) 久留米地区(A地区)事業企画会議

日 時：平成30年9月6日

場 所：高良台リハビリテーション病院

3) 有明地区(C地区)事業企画会議

日 時：平成30年9月10日

場 所：デイサービス ライズ

4) 朝倉地区(D地区)事業企画会議

日 時：平成30年9月5日

場 所：甘木中央病院

2. 研修会

1) 第一回筑後ブロック分野別研修会

全体参加者数：125名

①身体障害部門

テーマ：運動器リハビリテーションにおける
評価・治療

講 師：坂本 智洋 先生(姫野病院)

参加者：49名(会員49名他職種0名学生22名)

②地域・老年期障害部門

テーマ：新総合事業と作業療士の役割

講 師：西 裕介先生(神代病院)

参加者：27名(会員24名他職種0名学生3名)

③精神障害部門

テーマ：就労支援に関する援助内容と
作業療法士に求められること

講 師：鉏守 浩太先生

(障害者就業・生活支援センター
ぽるて センター長)

参加者：17名(会員14名他職種0名学生3名)

④発達障害部門

テーマ：発達障害領域における就労支援に
ついて

講 師：坂本 暁彦先生(NPO法人ゆとり)

参加者：10名(会員9名他職種1名学生0名)

2) 八女・筑後地区研修会

日 時：2018年8月29日

場 所：サザンクス筑後

3) 有明地区研修会

日 時：平成30年9月14日

場 所：帝京大学福岡医療技術学部

〈公2〉

1. 広報活動

1) Facebookでの広報活動

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

1) 第4回 筑後ブロック事業企画会議

日 時：平成30年10月15日19:00～

場 所：筑後商工会議所

2. 研修会

1) 久留米地区研修会

日 時：平成30年10月18日(木) 19時～21時

場 所：えーるびあ久留米予定

2) 平成30年度事例検討報告会

①第1回 平成30年10月18日(木)

場 所：帝京大学福岡医療技術学部

・発表者1名のみ希望である為開催
時間の確保ができず開催不可。

②第2回 平成30年11月14日(水)

場 所：久留米リハビリテーション学院

・発表者：9名 聴講者：13名

③第3回 平成31年1月17日(木)

場 所：介護老人保健施設アルファ俊聖

・発表者：8名 聴講者：6名

④第4回 平成31年2月14日(木)

場 所：えーるびあ久留米

・発表者：10名 聴講者：14名

3) MTDLP基礎研修

日 時：平成30年9月24日

場 所：筑後商工会議所3階大ホール

体質改善アプローチについて

私は今まで作業療法士として病院でのリハビリや訪問看護ステーションからの訪問リハビリを経験してきました。その中で患者様や利用者様の日常生活をより良くするために色々な勉強会に行き自分の知識や技術を高めて参りました。今まで色んな患者様と触れ合う中で痛みがとりきれない事や思うように回復が進まないことを経験してきました。その原因として主病名や患部にとらわれ過ぎて患者様や利用者様の全体をとらえきれていないという事に気づきました。最近本当に思いますのが、目の前にいる患者様や利用者様の食事（栄養）、睡眠、ストレス、水分のインアウトのバランス、職業歴、飲酒や喫煙歴など今まで生活してきたこと全てが体に現れているという事です。つまり、主の病名や患部だけにとらわれていても中々症状の改善につながらないという事です。私はそのことに気づき、初回介入時に問診を行い、今までの生活歴をしっかりと聴取して、どうなりたいかやなぜそうなりたいかを明確にする事と体質改善アプローチという考え方と技術を組み合わせることで少しずつ自分も関わる患者様や利用者様にもより良い変化が見えてきました。実際にどういうアプローチなのかと言いますと、痛み・アレルギー・内臓の不調などの様々な症状は骨格や脳や内臓系の不調が引き起こします。そして、その骨格や脳や内臓の根源となるものは水分と腸内環境と体温だと言われています。つまり、体質改善アプローチというのは人間の体の根源をとらえたアプローチの事で、水分（血質）や腸内環境と体温を調整するために施術で全身の骨格や内臓と頭蓋骨の一次呼吸の調整を行い、体内に流れる脳脊髄液とリンパ液と血液の循環を良くするという考え方になっております。学生の時に授業で習ったように人間の60%は水分でできており、水分は体内の代謝に欠かせません。腸は食物の消化や吸収を行うだけの器官だけでなく免疫や精神活動にも影響を与えます。頭蓋骨は脳を守るだけでなく自律神経の働きにも大いに関わっております。私も実際に現在働いている病院やボランティア先でこの体質改善アプローチを実践していますが、患者様や利用者様から「ありがとう」と笑顔で言われたり、症状が取れたことで患者様や利用者様の活動範囲やADL・IADLの拡大につながっているという報告も数多く受けています。このような体験をする中で、自分の中で少しずつですが治療に対する自信が構築されて更なる高みを目指していきたいという励みになっておりますし、患者様や利用者様の行動や考え方にも影響が与えられるようになってきていると感じております。この体質改善の考え方を皆様にも共有していただくことで、担当している患者様やご自身や周りにいる友人や家族を健康に導くことができると感じています。現在未病（不調がありつつも病気になる前の状態）の方は日本に数多くいると思いますが、病気になる前に未然に防ぐことで辛い思いをする方は減ると思いますし、日本という観点でとらえると医療費の削減にもつながると個人的に考えています。私達と同じ考え方を持った人を増やし、少しでも多くの方が辛い思いをせずに笑顔で健康に生活できる環境を作っていきたいと考えていますし、何よりセラピストの成長やセラピストの重要性をもっと社会に知ってもらい、セラピストの社会的地位の向上にも貢献していけたらと思っています。現在私たちは定期的に勉強会や技術セミナーも行っています。きっと皆様にも有益な情報や知識と考え方を提供できると思っておりますので、気になる方は是非ご連絡いただいて皆で高めあってきたいと思っております。最後までお読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。

リレーエッセイ

北九州市立医療センター 田中真理子

皆様、初めまして。北九州市立医療センターOTの田中真理子と申します。このリレーエッセイを回してくれた林くんは以前私が勤めていた病院の後輩です。彼のエッセイ後半に書いてあるように『患者様の前では常に笑顔』ということを実践しているOTRであり、いつも明るく患者様と接している姿を思い浮かべることができました。

以前の職場では約5年間回復期リハビリテーションに携わっていました。急性期病院より転院された患者様に対し、ADL・IADL exを中心に介入し、在宅や老人保健施設等への退院支援に従事してきました。回復期OTRとして働く中で、急性期病院での患者様の状態やリハビリテーションについて興味を持ちました。そこで、回復期病院を離れ、新たな環境に進むことを決めました。

現在、私が勤務している北九州市立医療センターは「がん診療連携拠点病院」に指定されており、周術期から終末期まで、様々なステージのがんの方に対して、リハビリテーションを実施しています。また、診療科別の患者数は整形外科・外科・内科の順に多く、術前および術翌日より早期離床と共にADL動作指導目的でOT介入しているのも特徴です。整形外科では脊椎疾患や腱板断裂を中心に周術期介入を行っており、脊椎術後の方に対しては自宅退院に向け、禁忌動作を守りながらADL・IADL動作が行えるよう介入しています。また、腱板断裂術後の方においては食事や更衣（装具着脱含）・入浴動作を中心に指導しています。

私は主に整形外科や脳神経外科、外科（乳がん）や血液内科を中心に患者様を担当させていただいています。周術期や化学療法中の方への介入としてリスク管理を行いながら、自宅等の退院先へ向けたADLやIADL動作指導をしています。当院ではがん患者様との関わりも多く、その方らしい生活を支援できるような関わり方について今後さらに考えていきたいと思っています。最後まで読んでいただいた皆様ありがとうございました。



※掲載写真については患者様了承の下、掲載させていただいています。

**医療法人 博仁会
福岡リハビリテーション病院**

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 正社員
 【給 与】 新卒 211,250円＋経験給
 【賞 与】 4か月
 【勤務時間】 9:00～18:00
 【休 日】 4週6休（部署により変則勤務）
 【福利厚生】 有
 【そ の 他】 通勤手当有
 【備 考】 選考方法：面接・書類選考
 【連 絡 先】
 〒819-8551
 福岡市西区野方7丁目770
 医療法人 博仁会 福岡リハビリテーション病院
 リハビリテーション部 山口 健一
 TEL：092-812-1555

**特別養護老人ホーム
サンシャインセンター**

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 正社員
 【給 与】 179,300円～＋経験給＋各種手当
 【賞 与】 年2回 3.5か月
 【勤務時間】 8:30～17:15 宿直（月2～3回）
 【休 日】 4週8休シフト制＋夏季・年始休暇有
 （年間休日108日）
 【福利厚生】 厚生年金保険，健康保険，
 雇用保険，労災保険
 【そ の 他】
 住宅手当（上限27,000円），扶養手当，通勤手当
 （上限55,000円）宿直手当（1回4,200円）等あり
 【備 考】 特養での機能訓練業務
 【連 絡 先】
 特別養護老人ホーム サンシャインセンター
 福岡市早良区干隈6丁目10番20号
 TEL：092-874-0045 担当者 濱崎

早良病院

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 急募1名
 【雇用形態】 正社員
 【給 与】 195,000円～206,000円
 （経験に応じる）
 【賞 与】 年2回 計4ヶ月分
 【勤務時間】 8:30～17:00
 （回復期病棟は早出勤務有）
 【休 日】 4週7休
 【福利厚生】 健康保険，厚生年金保険，
 雇用保険，労災保険あり
 【そ の 他】 通勤手当，職務手当，住宅手当あり
 社宅・寮あり
 【備 考】 病院でのリハビリテーション業務
 選考方法は面接・適性検査を予定
 【連 絡 先】
 〒819-0002
 福岡市西区姪の浜2-2-50
 早良病院 総務課 岩永
 TEL：092-881-0536

早良病院

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 パート
 【雇用期間】 2018年9月1日～2020年3月31日
 【給 与】 時給 1,620円
 【賞 与】 なし
 【勤務時間】 9:00～16:00 （時間は応相談）
 【休 日】 4週8休
 【福利厚生】 健康保険，厚生年金保険，
 雇用保険，労災保険あり
 【そ の 他】 通勤手当 20,000円まで
 【備 考】 病院でのリハビリテーション業務
 選考方法は書類審査・面接を予定
 臨床経験3年以上
 【連 絡 先】
 〒819-0002 福岡市西区姪の浜2-2-50
 早良病院 総務課 岩永
 TEL：092-881-0536 FAX：092-883-8761



医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／医療福祉教育・管理分野／災害医療分野／遺伝カウンセリング分野 など

医療福祉経営専攻

医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野／医療通訳・国際医療マネジメント分野 など

博士課程

保健医療学専攻

作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／福祉支援工学分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野 など

主な講師陣

●作業療法学分野 杉原素子教授 ●言語聴覚分野 深浦順一教授
●理学療法学分野 丸山仁司教授 ●災害医療分野 石井美恵子教授
●遺伝カウンセリング分野 四元淳子講師 ●医学研究科 三浦総一郎教授(大学院長)、辻省次教授

- ◆多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニング科目も充実
- ◆福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置
- ◆医療福祉における第一人者の講義を、複数のキャンパスで受講できる「同時双方向遠隔授業システム※」

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください

*修士課程は、短大・専門学校を卒業した満22歳以上の方も出願可能

修了者数

修士課程	(平成12～29年度)
■保健医療学専攻	1,821名
・作業療法学分野	130名
■医療福祉経営専攻	654名

博士課程	(平成15～29年度)
■保健医療学専攻	282名
・作業療法学分野	10名



2018年4月、東京赤坂キャンパス開設

医療福祉学研究科(分野新設)
・災害医療分野
・遺伝カウンセリング分野
医学研究科(研究科新設)

東京都港区の旧赤坂小学校跡地に東京赤坂キャンパスを開設しました。公衆衛生学専攻と医学専攻からなる「医学研究科」をはじめ、新分野・コースを開設し、生涯教育の拠点として大学院教育をさらに充実させます。

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

国際医療福祉大学大学院

URL <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

福岡キャンパス

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL 092-407-0434
E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

大川キャンパス

〒831-8501
福岡県大川市榎津137-1
TEL 0944-89-2000
E-mail oocamp@iuhw.ac.jp



編集後記

今月号の特集は特定非営利活動法人くるめ地域支援センター長野久雄さんに「地域ケア会議を活用した課題解決について(久留米市の取り組みを通して)」という題目で執筆していただきました。在院日数の削減、外来維持期リハの廃止など、施設側にとっても患者・利用者側にとっても今後、医療情勢はますます厳しいものになってきます。しかし、見方を変えれば介護保険や地域への移行をしやすい環境に変わりつつあると受け取れることもできます。このことは地域や生活の視点をもつ作業療法士にとっては強みだと思います。各地域で地域ケア会議が開催されるようになり、作業療法士が地域から求められる職種となるように知識と技術を高めていくことが大切です。今年度は福岡県作業療法協会の各ブロックから地域ケア会議をテーマに執筆していただいています。次号は北九州ブロックから執筆していただく予定です。ご期待ください。よろしくお願いします。

第1回九州作業療法学会の演題登録が10月1日から始まりました。記念すべき第1回の学会で演題発表してみませんか!多数の演題登録、ご参加をお待ちしております。(許山)



第1回 九州作業療法学会

The 1st Kyushu Occupational Therapy Congress

会期 2019年 6月22日(土)・23日(日)

会場 北九州国際会議場

主催 九州作業療法士会会長



<会場QRコード>

学会長挨拶



記念すべき第1回九州作業療法学会のテーマは“Stay Gold”。障がいを持つ持たない、年齢に関係なく“一人ひとりが輝き続けて欲しい”そういう思いを込め“Stay Gold”としました。人が輝くには、その人の思いを実現することになります。失語症や重症心身障がい、認知症、自閉症スペクトラム、双極性障がい等、言葉にできないばかりか、言葉が思いの伝達を阻害することもあります。そのような方に私たち作業療法士は、作業・活動の様子から推論をたて、思いに重なることを通じて、大切なことを感じ取ってきました。作業療法士が国家資格になって50年が過ぎました。この間の対象者の思いとそれを実現しようとしてきた先人たちの知恵と工夫と技術が、これから迎える生産人口減少社会の課題解決につながると考えています。今まで支えられる側だった方が支える側になる。“自分のなりたい自分になれる”それが一億総活躍社会だと考えます。今まで対象者から教えられ、蓄積してきた作業療法で、その方の“Stay Gold”に挑戦する。そのヒントを掴めるような学会にしたいと考えています。

第1回 九州作業療法学会 学会長

濱本 孝弘 (医療福祉センター聖ヨゼフ園)

演題募集要綱

演題応募はインターネットを利用したオンライン登録のみです。

詳細はホームページ (<http://kyuot1.umin.jp/>) の演題募集要項を確認してください。

演題募集期間：2018年10月1日(月)～11月30日(金)

【演題登録に関する問合せ】 第1回九州作業療法学会
学術局査読担当：中津留 正剛
E-mail : kyuot2019@gmail.com

第1回 九州作業療法学会事務局

(公社)福岡県作業療法協会内

〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

E-mail: fuku-ota@fancy.ocn.ne.jp

<http://kyuot1.umin.jp/>